

Taketa City

NO.47

平成29年11月1日発行

# Gikai News

## たけた 市議会だより

- 予算特別委員会 ..... 2
- 第3回定例会の議決結果 ..... 3
- 一般質問 ..... 4~11
- 行政視察報告 ..... 12~14
- お知らせ ..... 15



写真提供者 筧島 孝一 竹田市在住のフォトグラファー(アーティスト)の作品を表紙に載せてています。

●プロフィール

1954年、大分県竹田市生まれ 市内在住  
1996年、東京綜合写真専門学校研究科卒  
P.S.J(日本写真協会会員)

●おもな写真展等(個展)

・東京銀座ニコンサロン 2回 ・東京新宿ニコンサロン 3回  
・大阪 ニコンサロン 2回 ・裏庭考現学写真集 出版  
●mono96FC代表 フィルムでモノクロにてござわり中

# 第3回定例会 予算特別委員会

平成29年度一般会計補正予算  
9億6,619万3千円増額  
(総額:236億6,635万円)



平成29年第3回定例会・予算特別委員会が9月6日・26日の両日開催され、付託された一般会計補正予算を慎重審査した結果、議案第96号、平成29年度竹田市一般会計補正予算(第3号)については、認定こども園整備事業に関連する予算を削除する修正案を賛成多数で可決し、その修正部分を除く原案については、全会一致で可決しました。

※賛否についてはP3参照

## 補正予算の概要

### 【歳出】

#### ◆ 総務費

平成28年度決算剩余金処理に伴う減債基金積立金	2億7千万円
ケーブルネットワーク関連機械器具購入費	955万8千円
農村回帰推進事業補助金	100万円

#### ◆ 民生費

障害福祉費国庫負担金等返納金	3,020万1千円
国民健康保険特別会計繰出金	△ 1,252万1千円

#### ◆ 衛生費

骨髓移植ドナー支援事業	42万円
飲用水改善事業補助金	400万円

#### ◆ 農林水産業費

畜産クラスター協議会補助金	3,460万5千円
農道舗装用原材料費	500万円
小水力発電事業費負担金	1,250万円

#### ◆ 土木費

市道維持補修工事請負費	4,300万円
市営急傾斜地崩壊対策事業費	3,150万円
道路改良事業及び急傾斜地崩壊対策事業に係る県事業負担金	2,685万円
市営急傾斜地崩壊対策事業費	4,020万円

#### ◆ 教育費

体育センター耐震改修等工事請負費	1億1,232万円
教育用電算機器等購入費	209万5千円
文化ホール業務委託料	405万円
アスベスト含有物除去等に伴う歴史資料館解体撤去工事請負費	1,705万3千円

修正可決

### 【歳入】

市税	6,556万6千円
分担金及び負担金	2,155万5千円
国庫支出金	1億2,369万2千円
県支出金	8,805万3千円
財産収入	49万2千円
繰越金	5億2,625万7千円
諸収入	3,482万6千円
市債	3億5,890万円
繰入金	△ 2億5,314万8千円

#### 《内訳》

地方創生基金	0円
財政調整基金	△ 4,898万1千円
公共施設等総合管理基金	△ 2億円
温泉等地域振興施設整備基金	105万3千円
肉用繁殖牛特別導入基金	△ 522万円

平成29年  
第3回定例会

平成29年9月6日～26日  
議案等の議決結果

条例案		
議案番号	件名	結果
議案第104号	竹田市個人情報保護条例の一部改正について	可決
議案第105号	竹田市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決
議案第106号	竹田市職員の退職手当に関する条例の一部改正について	可決
議案第107号	竹田市コミュニティバス運行条例の一部改正について	可決
議案第108号	竹田市分収造林条例の一部改正について	可決
議案第109号	竹田市税条例の一部改正について	可決
議案第110号	竹田市都市計画税条例の一部改正について	可決
議案第111号	竹田市市営住宅条例の一部改正について	可決
議案第112号	竹田市定住促進住宅条例の制定について	可決
議案第113号	竹田市地域優良賃貸住宅条例の制定について	可決
予算案		
議案番号	件名	結果
報告第5号	専決処分事項「平成29年度竹田市一般会計補正予算（第2号）」について	承認
報告第6号	専決処分事項「平成29年度竹田市国民宿舎久住高原荘事業特別会計補正予算（第1号）」について	承認
議案第96号	平成29年度竹田市一般会計補正予算（第3号）について	修正可決
議案第97号	平成29年度竹田市立こども診療所特別会計補正予算（第2号）について	可決
議案第98号	平成29年度竹田市長湯温泉療養文化館特別会計補正予算（第1号）について	可決
議案第99号	平成29年度竹田市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	可決
議案第100号	平成29年度竹田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	可決
議案第101号	平成29年度竹田市介護保険特別会計補正予算（第2号）について	可決
議案第102号	平成29年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計補正予算（第2号）について	可決
議案第103号	平成29年度竹田市水道事業会計補正予算（第2号）について	可決
議案第114号	平成29年度竹田市一般会計補正予算（第4号）について	可決
一般案		
議案番号	件名	結果
議案第115号	工事請負契約の締結について	可決
決算認定案		
議案番号	件名	結果
認定第1号	平成28年度竹田市水道事業会計決算の認定について	認定
認定第2号	平成28年度竹田市一般会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
認定第3号	平成28年度竹田市立こども診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
認定第4号	平成28年度竹田市長湯温泉療養文化館特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
認定第5号	平成28年度竹田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
認定第6号	平成28年度竹田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
認定第7号	平成28年度竹田市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
認定第8号	平成28年度竹田市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
認定第9号	平成28年度竹田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
認定第10号	平成28年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
認定第11号	平成28年度竹田市国民宿舎久住高原荘事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
質問案		
議案番号	件名	結果
質問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案の者適任
請願・陳情・意見書案		
議案番号	件名	結果
請願第4号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出についての請願	採択
陳情第2号	繁殖豚舎建設反対の陳情書	継続審査
意見書案第4号	地方財政の充実・強化を求める意見書	可決

■賛否一覧表  
※賛成・反対の双方あつた場合のみ表示しています。

議員名(議席番号順)	首藤健二郎	佐藤市蔵	上島弘二	佐藤美樹	鷲司英彰	山村英治	阿部雅彦	渡辺克己	井英昭	徳永信二	佐田啓二	坂梨宏之進	加藤正義	吉竹悟	本田忠	日小田秀之	審議結果
議案番号・件名																	
議案第96号に関する修正案	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	●	可決
意見書案第3号 「全国森林環境税」の創設に関する意見書	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※議長は表決に参加しないため、表決結果は空欄 表の見方…○：賛成、●：反対、－：欠席



## 一般質問

# 市政を問う

9月12日・13日・14日、11人の議員が一般質問を行いました。  
その内容を要約してお知らせします。  
なお、原稿は質問議員本人が執筆しています。

阿部 雅彦



**問 発達障がいに対する医療支援や教育支援の取組の状況は**

**保険健康課長** 乳幼児や5歳児健診の際の個別相談や専門医の受診等のアドバイスをしたり、医師、臨床心理士や竹田支援学校等の協力も得て、フォロー相談会を開催したりしている。自立支援の立場から、社会生活に適合する力の獲得や障がい者と共生していく社会の体制づくりが重要だと考えている。

**学校教育課長** 学校現場においては、行政や児童相談所等と連携をした支援体制づくりをしたり、教職員の研修による専門知識の理解や授業形態の工夫に取り組んだりしてい

る。教育委員会では、大学や医療関係者等からの指導や助言を受けながら、支援体制の充実に努めている。

**歴史的風致維持向上計画の取組状況は**

**問 計画の認定を受けて3年間の取組状況と今後の展望は。**

**文化財課長** 由学館セミナーや山城サミットの開催、図書館建設や無電柱化事業等、ソフト面やハード面共に計画どおり進んでいる。今後としては、重点区域の城下町と久住、直入や竹田南部地域の歴史的風致の維持や新たな重点区域の検討も考えられる。

## 行政連携ポイントの取組について

**問 市民生活の向上、行政が取り組む事業の効果アップや地元商店への経済効果を目指した行政ポイントを発行してはどうか。**

**企画情報課長** 広域性や公益性のある受け皿としてのわくわくカード

会の取組に期待したい。国の動向や先進地事例を参考にした制度の研究をして、財源確保をしていきたい。

問 九州商人フォーラムを竹田市で開催してみてはどうか。

商工観光課長 わくわくカード会や竹田町商店街振興組合等が中心となつて開催するフォーラムに、出来る限りの支援をしていく。

吉竹悟



#### 農林業振興策とバイオマスについて

問 市の活性化、農林業の振興のために、市内独身者への婚活政策が重要だと考えるが市の考えを問う。

市長 一つの大きな流れがある。一つは、政策として婚活の対策をしっかりと構築するという事。もう一つは、若いカップルが、農村で暮らすといふ

環境整備を、どう整えるのかという

事にある。幸いにして、協力隊の中に

婚活の企画にたけた人材がいる。出

会いの場づくりに奔走してくれてい

る。全国共通の課題は、成果が出な

い事例が多くあるということだ。出

会いから、その後どういう暮らしを

していくか、どういう生業に就いて

いくのかという事も重要である。そ

れをしっかりと組み上げられない、

人生設計が出来ないと考える。若い

人たちが、就農しやすい環境づくり

も重要であるので、今後もチャンス

を作りながら、若い人たちが就農出

来る環境づくりを政策として展開し

ていく。それは単に農業をするという

事ではなく、農村で暮らす、農村に残

るという事の環境整備が必要である。

現在取り組んでいる移住定住政策等

で、市独自の政策に取り組んでいく。

#### 市進出企業について

問 入田地区に進出する予定の「祖峰企画」は、未だに起業していないが、その理由と今後の展開はどうな

るのか問う。

市長 企業進出における重要な課題であるので、私から答弁する。指

摘の企業は、知事仲介の下で協定を交わした経緯がある。会社の本業は、

順調であり、故郷入田地区の名水を活用したいということから、地域の

理解を得て取組を行つた。企業も改

修をしながら状況を見極めている。

しかし、リズムが遅いのでスピード感をもつてやってくれと、再三再四

要求を行つている。世界情勢の変動

のため、市場の情勢が許さないとい

うことのようである。指摘のとおり

期待が大きいので、他のエリアを探

すなりして、水の活用を行つてもら

うように求めていく。

#### 竹田市の農政について

問 主要農産物等の将来展望は。

農政課長 産地化、ブランド化、市

場ニーズの生産量と品質向上に努

める。

問 後継者育成のために農大生に奨学金を。

農政課長 1年生に月1万円。2年

生は、県が親元就農事業として年に

150万円を支給している。

#### 家畜共済掛金の一部補助を。

畜産振興室長補佐 過去の事故率

等で掛金算定されるので一律助成は厳しく、検討課題としたい。小牛価格の急下落はないとと思う。

問 獣害の昨年度被害は、他市と比較して金網柵の補助率。獣害補助の伝達と周知徹底は。

農政課長 2千97万円。他市の金

直入中央線 名子山—馬門間の早期改良工事を。

市長 大分・長湯に通じる重要道路。公共施設整備計画に搭載し、名子山

—馬門間は早期に整備したい。



佐藤市蔵

#### 直入中央線の改良工事について

## 市有林の管理状況について

**税務課長** 話し合いで全額納付の例もあるが全般的には厳しい。  
※  
**問** **職員派遣制度での成果は。市の管理職を任命する方策は考えないか。**  
**税務課長** 昨年6千340万円の成果が出た。管理職での徴収は、必要に応じて講じる。

網柵補助率は、豊後大野市150枚まで2分の1、佐伯市300m以下2分の1、竹田市は、3万円以上で3分の1。當農座談会や市報で周知、農業委員等にも協力して頂く。

**問 営農指導体制は十分と思うか。**

**農政課長** 営農指導の成果として農業粗生産額が、10年で47億円伸びた。

## 問 植草生産の現状について。



佐田 啓一

有効なのか検討を重ねていきたい。

**問 小型有害獣の被害が拡大して**

**いる。**この対策として小型有害獣に  
対しても捕獲奨励金を出せないか。

**農政課長** 平成28年度、県内では国  
の基準である千円に市費で千円から

問 税務課長 28年度末の滞納金額は。

税務課長 約1億5千700万円。

問 合併時に滞納金はあったのか。

税務課長 合併時も滞納はあった。

問 滞納への対応として、話し合いでの解決は出来なかつたのか。

## 市税の滞納状況と今後の取組について

**問** 営農指導体制は十分と思うか。  
農政課長 営農指導の成果として農

枚まで2分の1、佐伯市300m以下2分の1、竹田市は、3万円以上で3分の1。當農座談会や市報で周

網柵補助率は、豊後大野市150

## 問 市有林面積は。

**農政課長** 平成27年の確定値では、生椎茸45・1トン、乾椎茸221・9トンで、乾椎茸の生産高は全国1位。農家数は最盛期から見ると減少、この3年間では微減。農家戸数は897戸。

**問 椎茸農家の維持・拡大と生産量の増加対策として種駒助成の対象規模を現在の2万個から1万個以上にすることが有効と思うがいかがか。**

**農政課長** 平成28年度から県の種駒助成が廃止されたが、市の単独で助成をしている。2万個以上の補助金申請者は27年で143人、28年は137人で減少。種駒1万個以上への緩和策を含め、今後、県等の動向や他市の状況等を勘案しながらどういう事業がこれから椎茸生産に有効なのか検討を重ねていきたい。

**問 小型有害獣の被害が拡大している。この対策として小型有害獣に對しても捕獲奨励金を出せないか。**

**農政課長** 平成28年度、県内では国の基準である千円に市費で千円から2千円を加えた捕獲奨励金を設定している市町村がある。この9月補

生産量の少ない農作物では、申請を積極的にしていないと聞く。しかし、スイートコーンの紋枯れ病に効く薬がないという現状を踏まえ大分県やスイートコーンを生産している他県とも共同し、国及び農薬会社等に働きかけるなど検討を進めたい。

その他に集落支援員の活用について質問した。

の増加対策として種駒助成の対象規模を現在の2万個から1万個以上にすることが有効と思うがいかがか。

**農政課長** 平成28年度から県の種駒助成が廃止されたが、市の単独で助成をしている。2万個以上の補助金申請者は27年で143人、28年は137人で減少。種駒1万個以上への緩和策を含め、今後、県等の動向

問 スイートゴーネンの病気(紋枯病)に生産者は苦慮している。近年なつてゐる。市としては、使用が認可されるよう対策をとるべきだと思うがいかがか。

正で小型の有害鳥獣用の罠8基の購入経費を出していいる。小型有害獣の捕獲奨励金については、他市の動向等を見ながら獵友会等の関係団体の意見を含めて、検討していくた  
い。

首藤健二郎



岡城周辺の整備を進めては。

文化財課長 約半分が民有地である。所有者のご意志を尊重し、市は管理団体として調整を行なながら方策を検討する。

問 草刈りのボランティアに、市も力を入れてほしい。

岡城観光について  
問 近年の観光客数と動向は。  
商工観光課長 ここ5年間、7万人前後で推移している。

問 入場料の経過、使途は。

文化財課長 清掃や石垣の維持管理のため、平成7年1月から徴収を始めた。清掃作業員の賃金、徴収資金、パンフレット製作費、維持管理費、修繕費等に使用しており、平成27年の実績では、徴収料から経費を引くと約570万円の不足がある。

問 市民をも遠ざけている要因ではないか。収支もマイナス。廃止する考えは。

文化財課長 維持管理の貴重な財源となつており、雇用も生み出している。

きたい。

「竹」や「夜の観光振興の創出」

問 「竹」や「夜の観光振興の創出」をキーワードに街づくりにも活かせないか。

市長 竹楽も、街づくり等も、課題は高齢化にあると思う。市民の方々が立ち上がる土壤がないといけない。

市民の方々が主体的に盛り上げていき、行政がサポートする。その両輪が大事である。

竹田南高校女子サッカー部について

問 主催者への応援は。  
商工観光課長 補助金は徐々に縮小されているが、警備員の委託経費や里山環境整備に係る作業員の賃金も市が負担している。

問 主催者も高齢化し、運営に影響している。市の考えは。

商工観光課長 3日間に10万人を集めることで、事務局体制の強化、役割分担を明確にしていく。竹樂に携わることがステータスになるような仕組み・仕掛けを作つてい

徳永信二



農業振興(畜産)について

問 「畜産クラスター事業」その内容・要件等は。

畜産振興室長 牛舎等の施設整備や自給飼料生産のための機械リースを支援する。補助率は2分の1。従来の共同利用要件は課さず、個別の経営体も補助対象となる。

畜産振興室長 新規就農者定着及び繁殖基盤の強化のための体制構築としている。新規就農者の定着は、

竹田市が牛舎を整備し貸出す予定。畜舎や堆肥舎の施設整備に取り組んで規模拡大を図る農家は3戸で実施する。また、自給飼料の生産・利用拡大を行う農家は6戸の農家が



取り組む計画となつてゐる。

**問 新規就農者の位置づけ、経緯、その対応について。**

**畜産振興室長** 新規就農者は事業の取組主体になれない。市が事業主体となり賃貸借契約をする。施設整備の用地の確保も必要。これらの課題があるが、竹田市のクラスター計画を推進する取組と考え、畜産振興室がバックアップしながら事業を進めている。経営収支計画は、県の指導を頂き策定をしている。初期投資額が大きく、生産に反映されるまでに約2年を費やし畜産業に参入する大きな壁となつてゐる。新規就農者がこのクラスター事業に取り組むには、畜産への従事経験、建設用地の確保、環境的条件等を整備し、クラスター事業あるいはそれに代わる事業が有る場合に限り取り組む。

**問 今後の竹田市の畜産事業の振興策等をどのように考えているか。**

**畜産振興室長** 高齢化と後継者不足による飼養農家戸数の減少にどう対応するかが最重要課題である。

増頭対策事業、畜産クラスター事業

の活用、畜産プロジェクト会議事業（黒いダイヤ・オーナー制度）など、農家の規模拡大の意向に沿つた支援策で対応する。また、年齢要件の緩和、空牛舎の活用やオーナー制度等の利用も検討し、後継者や新規就農者の確保と育成に努め、少しでも初期投資が軽減できるような畜産振興が図れるよう取り組む。

い児タイムケア事業)の利用実績と課題、今後の方針を問う。

**社会福祉課長** 夏休み中の10日間、

1日の定員を5名とし、福祉事業所に委託して実施した。小中学校と竹田支援学校から11名参加があり、定員超えで、毎日参加という希望には答えられなかつた。見守りボランティアの確保に努め、事業継続を図る。

障がい福祉サービス利用者が65歳になると介護保険サービス利用となるが、その際、自己負担発生や利用できなくなるサービスがある。市の対応は。

**社会福祉課長** 介護保険認定時に、ご本人やご家族に利用者負担のことを説明し、理解いただいている。介護保険では不十分な点は、障がい福祉サービスと併用し支援の充実に努める。

**問 障がい者の親亡きあとの支援をどう考えているか。**

**社会福祉課長** 親あるうちに」考えていくことが肝要。家族交流会で研修を重ねている。



**問 発達障がい児の教育支援内容は。**

**学校教育課長** 特性に応じ、対人スキルトレーニングを行つたり タブレット等を活用し、合理的配慮を進めている。

**問 障がい者の親亡きあとの支援をどう考えているか。**

**社会福祉課長** 親あるうちに」考えていくことが肝要。家族交流会で研修を重ねている。

竹田市自立支援協議会地域生活支援部と協力し、成年後見人制度や福祉サービスの周知に取り組む。

**問 行政の障がい福祉計画に加え、差別解消・障がい福祉を市民と認識共有するために、条例を制定するべきだと考える。「障がいのある人もない人もだれもが安心して暮らせるまちづくり条例」の制定を提案する。**

**社会福祉課長** 当事者や関係機関の意見を聞き、検討したい。

**問 来秋、開催予定の国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭おおいた大会について、市の姿勢を問う。**

**文化政策課長** 福祉関係団体の方に実行委員に参加していただきたい。また、福祉事業所との連携も考えにある。会場のバリアフリー化を図り、多目的トイレ等の案内を充実させる等、配慮に徹したい。

**問 その他、移住施策について質問した。**

**社会福祉課長** 「親あるうちに」考えていくことが肝要。家族交流会で研修を重ねている。



日本共産党

上島 弘二



「部落差別解消推進法」について

問 昨年12月に「部落差別解消推進法」が国会で成立・施行となつたが、この法の施行、運用にあたつては、過去に生じた諸問題が再び起ることのないよう、そのため特に参

議院の「附帯決議」を市職員や教職員などの関係者に対して十分に把握・理解を徹底した上で進めてほしいと思うが、市長の方針を問う。

市長 全く同感である。決議を含めて市一体となつて取組を強化したい。

「市の諸行事の運営及び諸施設の建設に關わる問題」について

井 英昭



「岡城跡の再整備」について

問 岡城跡は竹田市の観光の目玉である。市の觀光を飛躍的に展開するために岡城跡の再整備、特に「岡城跡南側」の石垣や天然要塞が全て見えるよう「思い切った取組」が出来ないか

議院の「附帯決議」を市職員や教職員などの関係者に対して十分に把握・理解を徹底した上で進めてほしいと思うが、市長の方針を問う。

市長 全く同感である。決議を含め

て市一体となつて取組を強化したい。

「高齢者の移動手段の確保について

現在のコミュニティバスの路線数、利用者数、委託料総額は。

企画情報課

10路線で2万44

49人。委託料は4千710万円。

スクールバスをコミュニティバスに活用できないか。

教育総務課長

現状では難しいが、

企画情報課と情報交換しながら検討していく。

「プログラミング教育の必修化について

問 2020年の必修化に向けての竹田市の方針は。

学校教育課長 プログラムの作成が目的ではなく、問題解決を図るプログラミング的思考の習得が目的。指導体制の充実や社会との連携・協働についても考えていく。

問 人的・ハード的整備と予算面は。

教育総務課長 ICT支援員の増員や研修の強化、タブレットの導入、無線LANの導入を計画。パソコンの更新に8千9百万円を予算化。

子どもたちのためにも他市に後れを取らないよう要望する。

問 市が毎年年実施する「岡城桜ま

一般質問

いう問題もある。今回の予約型乗合タクシーを含め、様々な角度から竹田市の特性に合った移動手段の確保を検討していく。

**問 大分市では自動運転車両の実験が始まった。竹田市ではどうか。**

**企画情報課長** 実証実験のチャンスがあれば、積極的に関わっていく。



**問 市民税・固定資産税・軽自動車税について、平成27年度と平成28年度を比較した収入歩合はどうか。**

**税務課長** 平成28年度の決算の状況については予定でお知らせする。個人市民税は平成27年度88・3%、平成28年度92・2%。法人市民税は平成27年度94・5%、平成28年度96

%。固定資産税については平成27年度86%、平成28年度89・1%。軽自動車税は平成27年度89・1%、平成28年度92・4%。すべての税目において平成27年度を上回る実績となっている。

## 体育施設の改修について

**問 竹田市総合運動公園陸上競技場のトラックは公認コースの認定も取り消され、かなり傷んでいる。改修はできないか。**

**生涯学習課長** 竹田市陸上競技場は平成16年に全天候型のトラックとして利用が開始された。現在トラックの状況は、表層合成ゴム部分の劣化による硬化が進み摩耗している。

とくに100mのスタート地点は下地素材が露出しているし、舗装材の接合面が剥離している所もある。今回、施設の長寿命化計画を作成することで助成制度を利用できる可能性があることから、公共施設整備計画に改修を載せられるように関係課と協議をしている。

額は、平成27年度155件の約1千700万円、平成28年度は420件の約3千900万円、と大幅に増加した。その結果、徴収率も向上し、滞納額も約5億円から3億700万円程度に減少させることができた。今後も、市民に納期内の納付を呼びかけ、公正で公平な税徵収を行って

いく。



渡辺 克己



**問 道の駅すどうについて**

**農政課長** 開店は11月17日。ジュース・酒・たばこが競合品目となるため、農村商社わかばは、年間減収補償費336万9千円を受け取る。コンビニ出店により増収が期待できるものと考えている。

## 市税について

**問 市税について、平成27年度と平成28年度を比較した収入歩合はどうか。**

**税務課長** 平成28年度の決算の状況については予定でお知らせする。

個人市民税は平成27年度88・3%、平成28年度92・2%。法人市民税は平成27年度94・5%、平成28年度96

との契約であるが、フランチャイズ契約を今後結ぶと聞いている。

## 成年後見制度について

### 平成12年度に「介護保険制度」と

「成年後見制度」は同時にスタートしたが、高齢化に伴い「介護保険制度」の利用度は高くなっているものの、車の両輪となる「成年後見制度」の利用は低迷している現状にある。同時にスタートした意義と現在の状況についてどうなのか。

**高齢者福祉課長** 介護保険制度は

主に65才以上の要介護者と事業者との契約により実施される。成年後見制度は家庭裁判所の許可のもとに始まり、契約に対して代理権が与えられ、要介護者のために一定の法律行為ができる。

### 平成28年度の成年後見制度の利用者数はどうであつたのか。

**高齢者福祉課長** 県調査により介

護サービス利用者909名で後見利用者45名の約5%と他市より高い状況である。



## 平成28年度に成年後見制度の

「利用促進法」と「円滑化法」が施行された。高齢化の進むなか、中核的な精神科を有する本市においては、今後「成年後見制度」の利用が多くなると思われる。利用者と福祉事業者を守るために、円滑に運営するための公的支援システムが必要と思われるがどう考えているか。

**高齢者福祉課長** 地域連携ネットワークを構築し、必要な人がいつでも利用できる環境づくりが必要と考

える。その他市民後見人養成と任意後見制度について質問をした。

要と考

## 政務活動費の公開について

議会改革調査特別委員会では、調査検討項目のうち「ホームページの充実」で、市民へ議会情報をいち早く公開することを目標としてきました。

そのようななか、議員個人の活動の結果としての政務活動費の領収書等を、平成29年(平成28年度分)から公開しています。なお、交付上限額の18万円を超える経費については、各議員の個人負担となっています。

詳細はホームページをご確認ください。

### 竹田市議会ホームページ

The screenshot shows the homepage of the Taketa City Council website. The top navigation bar includes links for 'トップ' (Top), '概要' (Overview), '正副議長' (Chairman and Vice Chairman), '議員紹介' (Introduce members), '議会日程' (Agenda), '会議録' (Minutes), '議題と陳情' (Topics and Petitions), and '事務局' (Office). Below the menu is a large image of a conference room. A sidebar on the right contains links for '議会日程のお知らせ' (Announcement of議会日程) and '概要' (Summary).

本議会の会議録や議会の日程、質問項目、議会のしくみと役割など様々な情報を掲載しています。

竹田市議会

検索

<http://www.city.taketa.oita.jp/gikai/>

# 常任委員会の行政視察報告

## 総務常任委員会

委員長 薮司 英彰

10月4日から6日まで、福井県勝山市と京都府亀岡市で、市議会総務常任委員会の行政視察を行った。

### 「わがまち魅力発酵事業」

#### —福井県勝山市

勝山市は県の北東部に位置し山に囲まれた、人口約2万3000人の



竹田市と似たまちである。県立の「恐竜博物館」があるだけに、まち全体を一つの博物館として捉えた「エコミュージアム」によるまちづくりが、市の政策の基礎となっている。

平成14年に「わがまちげんき発掘

事業」をスタートさせ、市内10地区のまちづくり団体にそれぞれ100万円の活動費が助成され、多くの地元の良さが発掘された。

その後「まちづくり事業」は、「創生

から「発展」さらには「わがまち醸成事業」へと進み、市民団体などへの助成の幅も広がり、活動も持続的なことからより魅力的なものへと変遷した。

現在は「わがまち魅力発酵事業」と

して、更なる事業の発展の取り組みを継続している。平成27年度は、総事業費約800万円で、これからまちづくりに参加する若者や女性グループ等による実施事業も支援の対象とし

ている。「えごま油」や「鰯」料理の商品化、登山道の整備、河川（九頭竜川）の美化など活動の範囲は広い。

「整備のための補助金があるけど、これだと長続きしない。これからは、資金が足りないならどうするかを考え工夫する取り組みへの支援が大切だ」（勝山市企画財政部未来創造課）。

### 「セーフコミニユーティー推進事業」

#### —京都府亀岡市

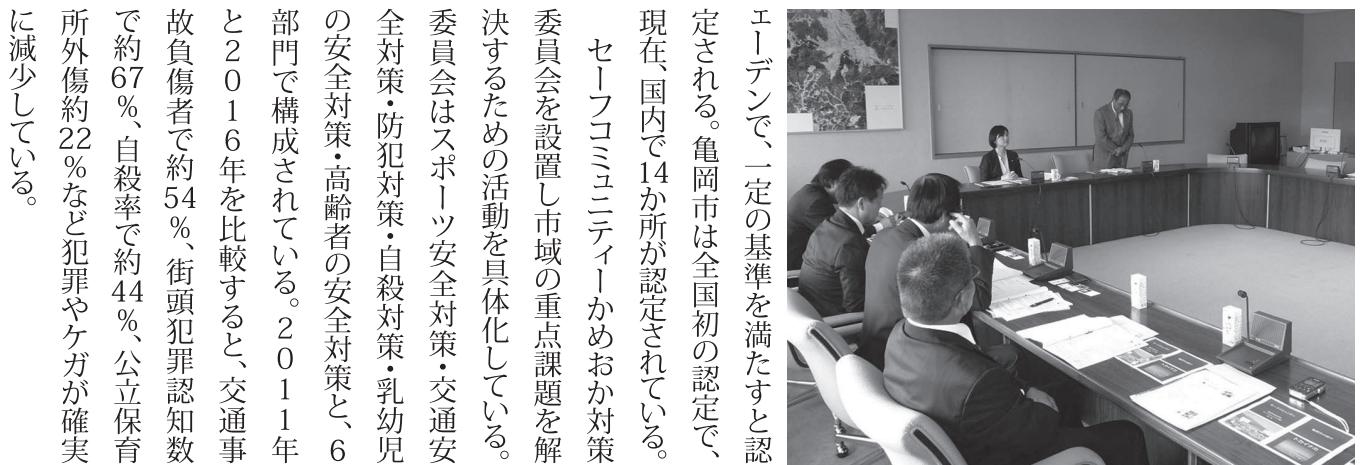
亀岡市は京都市の中心まで約20分、

京阪神大都市の住宅都市として位置づけられている。そのため「安心・安全

を第一に、不慮の事故やケガは、偶然ではなく予防できるという理念のもと、セーフコミニユーティー事業が進められている。

データや記録から事故やケガが、「いつ」「どこで」「どのように」発生したかを調べ、対策に反映させ、効果を検証していくことを特徴としている。

セーフティーネット発祥の地はスウ



## 常任委員会

委員長 井 英昭

ICTを活用した日本初の公共交通空白地有償運送

社会文教常任委員会では、ウーバーAPIを使って自家用車でのタクシー業務が日本で初めて可能になりました。京都府京丹後市丹後町を視察しました。

ウーバーとは、アメリカでは一般的になつていているアプリで、自家用車を利用して有償でタクシーのように人を運ぶシステムである。日本では京丹後市内のみで利用できる。京丹後市丹後町はタクシー会社が8年前に撤退し、200円バスやデマンドバスなどを運行しているが、それでも不便という事でウーバーを使つた自家用有償旅客運送を始めた。

京丹後市丹後町は丹後半島の最北端に位置し、説明者曰く「日本のチベット」で、最寄駅からタクシーで

似たような状況にある。

京丹後市では様々な交通施策が進んでおり、鉄道・民間バス・市営200円バス・乗合タクシーなどを組み合わせて運用している。今回のウーバーを利用した「ささえ合い交通」はNPO法人が市からの委託で

運行していた。料金体系はだいたいタクシーの半額程度で、実際に宿まで利用したがその通りに感じた。

運転手としての登録者は18名で、運行管理者が1名必要になる。運行

管理者は肌身離さず連絡用のスマホを持つことになるが、ボランティア精神で苦にはならないとのことだった。こういうことができる「まちづくりの精神があるからだ」という気持ちのこもつた説明に感銘をうけた。

### 八木バイオエコロジーセンター

6月議会で竹田市内3600戸分の電力を賄う家畜ふん尿を利用したバイオガス発電構想が発表された。それを受け京都府南丹市の表題のバイオガス発電施設を視察した。



施設は平成9年に運用を開始し、一日の処理能力は約7000tで総工費は約17億円だった。地元の農業公社が委託先で、公社の收支は黒字だが、機器の更新費用約2億円を市の方が負担し、実際は大きく赤字になつていると正直に教えていただいた。「3600戸分の電力を賄うにはどれくらいの規模になりそうか」という問い合わせに対しては、「大まかだが当施設の10倍程度になるのでは」という答えであった。さらに15年で建

要になるとのことで、膨大な維持管理コストがかかることが判明した。実際にその施設で働く職員からの生の情報はとても有効で、今後の議論に大いに参考になる研修となつた。



## 常任委員会

委員長 佐田 啓二

歴史と伝統を活かしたまちづくり  
を学ぶ（滋賀県彦根市）

彦根市は固有の歴史的風致を維持し、さらなる向上を図るため「彦根市歴史的風致維持向上計画（平成20年～平成29年度）」を策定し整備を進めてきた。この事業はハード、ソフトの両面を組み合わせている。

ソフト面では、「大名文化の継承」として能・狂言の継承など4事業、「城下町の伝統」として時報鐘の音風景など4事業、そのほか「中山道と宿場町」として人々の往来が盛んであつたゆえに栄えた伝統産業や伝統芸能、「山と信仰」として荒神山神社の水無月祭をはじめとして、荒神山に点在する8か所の寺社等の信仰の姿の継承などである。

ハード面では、歴史的建造物の保存修理をはじめ都市公園、道路、駐車場・駐輪場、水路等の整備事業で



豊橋市

畜産クラスター事業（愛知県

今回の研修目的は、環境に配慮した大規模養豚経営の確立であった。



豊橋市畜産クラスター計画は、養豚農家が飼養規模6千頭から1万頭に拡大するにあたり汚水処理施設の性能を、将来放流水の基準が厳しくなつても対応できるように当初から心がけて整備をしている。また、悪臭低減、堆肥化期間の短縮のために豚糞堆肥の製造過程において新たな資材を投入し効果を検証するなど研究を重ねている。

## 豊橋市バイオマス利活用センター

下水汚泥、屎尿・浄化槽汚泥、生ごみを資源とする複合バイオマスエネ

ルギー化施設として国内最大規模

ことにより観光客数は徐々に増えている。平成28年は324万人、うち彦根城入場者は78万人で大半が市外からであり、中心市街地の活性化に大きく貢献している。

10年で50の事業ができたのは、地域からの発案があるなど市民の理解と参加があつたことが大きい。

豊橋市畜産クラスター事業（愛知県

の同センターが10月1日から本格稼働したということで視察した。

発電量は1890世帯分、温室

効果ガス削減量は年間約1万4千トン、事業費は建設費98億円、20年間の運転管理費50億円、計148億円だが、売電などで20年間でペイす

ること。豊橋市の人口は約38万人、15万5千世帯であり、週2回生ごみを収集する。生ごみの受け入れは1日59トン、汚泥は472m<sup>3</sup>で大量のバイオマスを受け入れている。

竹田市はバイオガス発電が可能かこれから調査に入る。この研修を参考に十分検討をしていきたい。

たけた市議会だより  
平成29年11月1日

# 「平成29年7月九州北部豪雨」で甚大な被害を受けた 日田市及び中津市に竹田市議会から災害見舞金をお渡しました。

日田市



中津市



写真は、平成29年8月9日、両市を訪問した時のものです。

## 竹田市議会

## 「市民との意見交換会」

お  
知  
ら  
せ



△昨年の様子(竹田東部)

テーマ

移住定住促進のための課題について  
議会に対する意見・要望  
期 日 平成29年11月21日[火]と22日[水]  
時 間 午後6時30分～8時  
会 場 竹田市総合社会福祉センター  
方 法 ワークショップ方式

開催日時・参加議員	会 場	対 象 団 体
11月21日(火) 午後6時30分～8時  *議員全員	竹田市総合社会福祉センター (多目的ホール)	竹田市自治会連合会 集落支援員 地域おこし協力隊 竹田市P T A連合会 竹田市民生委員児童委員協議会 暮らしのサポートセンター 等
11月22日(水) 午後6時30分～8時  *議員全員	竹田市総合社会福祉センター (多目的ホール)	竹田商工会議所 竹田町商店街振興組合 わくわくカード会 九州アルプス商工会 竹田市観光ツーリズム協会 認定農業者、農畜産業後継者、新規就農者 等

\*今回は、上記の団体の皆さんとの意見交換をします。

なお、議会との意見交換を希望される市民団体や自治会がありましたら、議会事務局までご連絡ください。

☎0974-63-4813



## 議員陸上監督 坂梨宏之進

竹田市議会改選後、初めての議員陸上である。選手の選考には知恵を絞った。

400mリレーでは1番走者に瞬发力のある吉竹議員。2番走者は久住高原で鍛えられた持続力のある井議員。

3番走者は重戦車並みの走りと体力のある阿部議員。4番走者は竹田市議会切っての俊足の持ち主徳永議員。

号砲と共に県下の選手がいっせいに走り出す。我がチームは素晴らしい連携プレーであった。選手の選考は良かったと思ったが、大分県下には足の速い議員が多くいるものだ。上位入賞は逃がしてしまった。しかし、県下18郡市中5位だからたいしたものだ。

100m個人競技では実力未知数の首藤議員だ。素晴らしい走りを見させてくれたが、力及ばず。応援団曰く「出走前のウサインボルトのポーズの真似は一番だ」。

## 県民体育大会 結果報告

## 議員ソフトボール監督 本田 忠

大分県民体育大会議員ソフトボール競技で、竹田市議会チームは3位となった。実に4年ぶりの勝利であった。今年のチームは粘り強く、1回戦の別府市議会、2回戦の豊後大野市議会、どちらの試合も初回に大量点を与えるものの追い上げ、最後には逆転で勝利するという展開であった(1回戦10-9、2回戦6-5)。初回11点失った準決勝国東市議会戦、さすがに逆転は厳しかったが守備を鍛えれば十分戦える。来年は優勝を目指して頑張る。



映画「関ヶ原」を観た。

『不義が、正義に勝つてはならぬ』という石田三成が負け、『人は、利によってのみ動く』という徳川家康が勝つた。歴史は勝者しか書き残せない。しかしこの映画は、負けた三成が主役だった。勝つことも大事だが、戦い方が最も重要だ。そんなことをこの映画は語りかけている気がした。本当に市民のためなのか。そしてその進め方には公正なのか。私も三成のように、最後まで誇り高い男でいたい。

編集委員 首藤健二郎

あとがき

